

講義動画を大画面・解説付きで受験対策の 課外授業に。生徒のやる気維持につなげる

いわき総合高校(福島県立)

【活用キーワード】 >> ● 受験対策 ● 基礎学力の定着 ● 自学習慣

スタディサプリ活用法

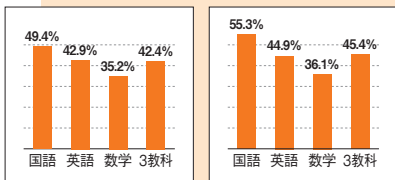
● サプリの講義動画を
大学受験対策の課外授業として活用

	月	火	水	木	金
1年	国語	—	数学	—	英語
2年	—	古典	数学	現文	英語
3年	英語	現文	古典	世界史/理科	数学

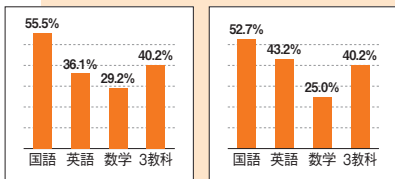
教室の大画面で講義動画を見ながら、教師が解説を交えて行う課外授業の時間割(上図)。春夏冬の長期休暇中は、通塾できない生徒のために午前中に課外授業を実施。午後は「1年生の総復習」「1年生、2年生の応用力を養成」「進路目的に合わせた挑戦講座：日商簿記講座、AO・推薦対策講座など」とテーマを設定し、講義動画を受講できるように工夫している。

● 毎週末の宿題配信で自学習慣の
成果が！3教科の到達度が上昇

■ 1年生秋の「到達度テスト」では、
3教科とも前年度より高い達成度！



■ 2年生は3教科の到達度を年間維持。課題提出率ほぼ100%で、講義動画の視聴時間が伸びた英語は、到達度も7.1%UP



● 生徒たちのサプリ活用法



高校では自分の可能性を広げるためにたくさんの挑戦をした。今がんばっているのが、美術部、生徒会と数学の課外授業です。少人数で、講義動画を先生が解説しながら進めてくれる課外は、数学が苦手な私にもわかりやすくてやる気になります。定期テスト前は、自宅でも講義動画を見て復習をするようになり、秋の「到達度テスト」では到達度がアップしました。1年1組・森 蘭世(らんぜ)さん

看護大の推薦入試が希望なので、力をつけたい英語は課外授業を受け、サプリの講義動画で1日1～2時間自宅学習しています。熟語や日常会話の言い回しがわかりやすく、長文の読解スピードが速くなりました。受験に必要な古典は苦手意識がありましたが、サプリだと文法を語呂合わせなどで教えてくれるので覚えやすいですね。受験までがんばります。2年2組・吉田一葉(かずは)さん



取材・文／丸山佳子

課題

希望する大学に進学したい！という生徒の意欲に、いかに応えるか

いわき総合高校が普通科から総合学科になったのは2004年。講師に劇作家を招く演劇授業で知られる「芸術・表現系列」をはじめ、「人文・国際系列」「自然科学系列」「生活福祉系列」など6系列に100科目以上が設置され、2年次からは自分で科目を選べる単位制が特徴だ。「進学から就職まで進路の幅が広く、単位制で好きな勉強しかしない生徒も多い。そうした当校の長年の課題が、大学進学を目指す生徒への学習サポートでした」

そう話す進路指導部主事の佐藤 靖先生がスタディサプリを使い始めたのは2015年。国公立大を志望する3年生が増え、過去問対策だけでは5教科受験に間に合わないと考えたからだという。

「3年生に希望を募ると、手を挙げたのは24人。サプリの講義動画で5教科の課外授業を毎日行い、第1志望の国公立大に

活用

講義動画を受験対策の課外授業に。宿題配信で自学習慣つけ、基礎学力定着を

合格するなどの成果が出た。この経験は大きな自信になりました。ただ、数学は3年からは間に合わなかった。そこで、受験対策と1年生からの基礎学力定着を考えた、全校で導入することにしました」

全校導入は2017年4月。以後、大学進学を希望する1年生には英数国3教科の課外授業を、2、3年生には3教科に受験科目を加えた課外授業を実施してきた。その授業は、教室の大画面に講義動画を映し出し、ときには動画を止め、教師が解説を加えながら行う独自のスタイルだ。「最初に3年生に実施したスタイルが引き継がれた形です。今では各教師が工夫をして行っています。補足をする中で、教師の勉強にもなります」と佐藤先生。

また、基礎学力の定着を図るために、1、2年次には春と秋に「到達度テスト」を実施。毎週末に授業内容に即した英数国3

教科の「運動課題」を宿題配信してきたことで履修内容の到達度が上がってきた。特に成績が向上したのが、課題提出率ほぼ100%の英語。そして国語だ。

「1年の1学期は、課題を提出しない生徒もいました。そういうときは居残りをさせ、出された課題は必ずやるという習慣をつけていきました。部活などで課外を欠席した生徒にも、講義動画のプリントを渡し、「今日はここを学んだので、家で勉強し、確認テストだけやっておいてね」と、学んだ結果を提出させることを徹底しています」と英語の渡部紘子先生。一方、国語の瀬谷貢一先生は、「授業との運動課題だけでなく、小論文に必要な不可欠な語彙力を高めるテストを多く配信しています。今後は、自分で学習習慣を作れるように、学習計画と受講履歴を記す「スタディサプリノート」の活用も考えています」と話す。

サプリを導入して3年。課外授業と定期的な宿題配信によって、生徒の学び方が変わり、大学進学希望者のモチベーションアップにもつながっているという。



前列左・進路指導部主事 佐藤 靖先生(理科)
前列右・1年主任 瀬谷貢一先生(国語)
後列・2年 渡部紘子先生(英語)

School Data

創立1914年／総合学科(男女)／生徒数585人(男子171人、女子 414人) 進路状況(2020年3月末実績) 大学59人、短大14人、専門学校等70人、就職39人